

弟の決意にエール

2年 徳重 瞳



1月20日付の本紙「若い目」で、小学校6年生の弟が書いた「ゲーム鬼は外」を読んで驚いた。日頃、長々と

ゲームをして母に怒られている弟が、「ゲームの前に宿題。少年団の監督や両親に感謝」と、中学校入学を前に、しっかりした考えをもつようになったと感心した。

以前、ゲームを強引にやめさせるため、母と一緒に弟のゲームを隠したことがある。しかし弟は家中を探して見つけ出したつわものだ。きっとこのゲーム鬼は相当手ごわい。正直、不安も感じる。

中学校生活は弟が考えるよりもずっと大変だ。委員会や部活動も忙しくて帰る時間も遅くなる。テストの結果も意識するようになるから勉強も大変だ。友達とゲームをする時間は減るはずだ。

だからこそやることの順番を守って、周りへの感謝をもって過ごしたいという意味を貫いてほしい。そうすれば、「ゲーム鬼は外、福は内」は必ず実現できるはずだ。姉としても、先輩としても、頑張る弟を応援したい。